## OSCE 時間管理プログラム (端末用・管理用)

取扱説明書

## 2012年3月

著作·製作 千葉科学大学、大高泰靖

	ページ番号
第1章 OSCE 時間管理プログラムについて	3
本プログラムの作製目的	3
本プログラムを使用するにあたり	3
プログラムの利用期限	3
使用環境	4
プログラムの使用許諾契約	4
プログラムの入手方法とインストール方法	5
プログラムの入手方法とインストール方法(別方法)	6
インストールされるファイルの保存場所	
表1 重要なファイルの保存場所	7
表2 放送番号と音声ファイルの名称	8
プログラムのアンインストール方法	9
第2章 案内放送を行う"端末用プログラム"の使用方法	10
第1節 案内放送を1台のコンピューターで放送する場合(単独使用)(管理せず)	10
(機能紹介) 手動での放送スケジュールの更新	14
(機能紹介) 放送内容の記録(放送ログ)	14
第2節 任意のフォルダにある放送スケジュールを用いる場合	15
第3節 放送スケジュールの設定	16
第3章 遠隔監視・管理を行う"管理用プログラム"の使用方法	18
第1節 遠隔監視のためのネットワーク設定	18
第2節 遠隔監視・管理を行う"管理用プログラム"の使用方法	20
(機能紹介) 自動スクロール機能	22
(機能紹介) メッセージ送信機能	24
(機能紹介) 緊急停止プログラム	24
(機能紹介) 管理コンピューターから手動での放送スケジュールの更新	26
第4章 OSCE、OSCE トライアルでの本番使用	27
すべてのコンピューター内蔵の時計を合わせる	27
スクリーンセーバー設定と電源設定について	30
Windows Update(自動更新)を無効にしてください	30
端末用コンピューターと外部スピーカーの接続	30
放送番号の間違いの確認	30
不慮の事態に備えて	30
第5章 使用期限の更新(端末用のみ)	31
ユーザー登録	31
利用期限の更新	32
プログラムのアップデートの確認	33
第6章 トラブルシューティング	34

## 第1章 OSCE時間管理プログラムについて

#### <本プログラムの作製目的>

薬学共用試験 客観的臨床能力試験(OSCE)において実施される計量調剤(散剤)などの実技 試験では、受験学生への公平性等の観点から、「試験課題を読む」時間、「試験課題を行う」時間 が決められており、正確に案内放送を行い、試験を実施する必要があります。また、本試験では、 6 つの課題項目があり、それらの項目間で「課題を読む」時間の長さが異なるため、全会場同時の 一斉放送を利用し難い状況です。また、大学により設備が異なるため、6 つの試験部屋の配置が 異なり、受験学生の部屋間移動時間が異なります。さらに、それぞれの課題の試験部屋において、 受験前後の学生を接触させてはいけないため、学生の動線・移動のタイミングを細かく調整する 必要があります。

そのため、各試験会場の時間管理を正確に行うための案内放送システムとして「OSCE 時間 管理用プログラム」を作製致しました。

#### <本プログラムを使用するにあたり>(必ずお読みください)

本プログラム「OSCE 時間管理プログラム」は、無償公開をしております。そのため、<u>使用により</u> <u>問題が生じた場合でも、千葉科学大学および作成者・大高泰靖は責任を負いかねますのでご了</u> <u>承下さい</u>。本プログラムの製作・著作は、千葉科学大学薬学部および作成者・大高泰靖が有して おります。 <u>本使用許諾契約に同意頂けない場合は、本プログラムをご使用できません。</u>ご注意く ださい。

本プログラムを OSCE 等で使用された場合は、使用された旨を報告書等に記載の程お願い申 し上げます。 そして、千葉科学大学薬学部 大高泰靖まで使用報告の連絡を頂けましたら幸いで す。

### <プログラムの利用期限>

公開プログラムは試用版であり、ダウンロードから 2 か月間ご利用頂けます。本プログラムを継続利用する際には、ユーザー登録が必要となります(無償)。ユーザー登録(利用機関名・大学名、管理者名、メールアドレス)を行うことで、申請日から 3 年間利用することができます。更新をご希望の方は、第5章ユーザー登録・使用期限の更新(p31)をご覧ください。

本プログラムに関するお問い合わせは、次の連絡先でお受けいたしますが、返答にお時間を 要する場合があります。また、それぞれの教育機関に応じたプログラム変更等は行いませんので、 ご了承の上、ご使用ください。

<連絡先>

千葉科学大学 薬学部

物理薬学系 薬品分析学研究室

大高泰靖

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町 15-8

E-mail: hohtaka@cis.ac.jp

(お電話での対応はしておりませんので、メールにてお願いします)

<使用環境>

- 1. Microsoft Windows 7 (32/64bit), Windows XP SP2 以上
- (Windows Vista でも動作しますが、時刻が 1-2 秒遅延します。 他の動作は問題ありません)
- 2. ディスプレイの表示領域:1024x768ドット以上
- 3. メモリ 512MB 以上
- 4. 使用ハードディスク: 50MB
- 5. Windows Update が実行され、最新の Windows 環境であること
- 6. Microsoft .NET Framework Version 2.0 以上(Windows Update を行うことで条件を満たす)

## <プログラムの使用許諾契約>

第1条 本契約の成立、効力、終了

- 1. 利用者が、本プログラム「OSCE 時間管理プログラム」の全部又は一部をコンピューターのハ ードディスク等の記憶装置へ保存したとき、または本プログラムを使用したとき、本使用許諾 契約に同意したものとします。
- 2. 利用者が、保存した本プログラムの全てを削除することにより、本契約を終了させることがで きます。
- 3. 作成者・大高泰靖は、本プログラムの公開を中止し、利用継続を認めず本契約を終了させる ことができます。
- 4. 利用者は、理由のいかんを問わず、本契約の終了について千葉科学大学および作成者・大 高泰靖に対し補償金その他いかなる名目での支払いも請求することはできないものとしま す。
- 第2条 禁止事項
  - 1. 利用者は、本プログラムおよび音声データを第三者に配布、レンタル、リース、貸与、譲渡す ることはできません。
  - 2. 利用者は、本プログラムに対して修正を加えること、逆コンパイル、逆アセンブル等を行うこと はできません。
- 第3条 著作権
- 1. 本プログラムの著作権は、千葉科学大学および作成者・大高泰靖に帰属します。
- 第4条 免責
  - 1. 千葉科学大学および作成者・大高泰靖は、利用者、その他第三者が本プログラムの使用に 関連して蒙ったいかなる損害に対しても、賠償等の一切の責任を負わず、利用者はこれに 対して千葉科学大学および作成者・大高泰靖に対して免責するものとします。
  - 2. 作成者・大高泰靖は、独自の判断に基づき、本プログラムの仕様・内容の変更、修正、配布 方法等の変更及び対価の設定をすることができます。
  - 3. 千葉科学大学および作成者・大高泰靖から提供される本プログラムに関する情報について も、直接間接問わず、本条各項の規定が適用されます。

<プログラムの入手方法とインストール方法>

义

义

- 1. 千葉科学大学 大高泰靖 ホームページ(URL:<u>http://www.cis.ac.jp/~ohtaka/program.html</u>)に アクセスしてください。
- 2. 同ホームページの「プログラムのダウンロード」からファイルをダウンロードしてください。
  - (ア)「端末用プログラムのみ」をダウンロードした場合
    - ① ダウンロードファイルは「CIS-OSCE.zip」であり、その中には「OSCE 時間管理プログラム(端末用).exe」があります。
    - ②「OSCE 時間管理プログラム(端末用).exe」を起動してください。
    - ③ 図 1-1 が表示され、1-2 秒後に図 1-2 が表示されます。

千葉科学大学 薬	学部 製作
OSC	三時間管理プログラム
(尓木)	<b>干) 試用版(</b> 2か月間使用できます)
起動中•••	
	(c) 2010–2012 Chiba Institute of Science, Hiroyasu Ohtaka. All rights reserve

$\cap$	いては関係曲プログロ
Ua	して时间官理ノログ
(端	末日) 計用版( 派社 地名
1-11	
初期。	<b>夏定を行います</b>
	(c) 2010-2012 Chiba Institute of Science, Hiroyasu Ohtaka. All rig
	ファノル・恐中ファノルたノッフトニルーキナ
辛吉	
音声	
音声 * 化	ターネット経由でのインストール(千葉科学大学に接続)
音声 • 化 · マ	ッターネット経由でのインストール(千葉科学大学に接続) ニュアルインストール(他のPCからコピーする)
音声 • 化 • マ	/ターネット経由でのインストール(千葉科学大学に接続) ニュアルインストール(他のPCからコピーする) 使用許諾に同意して プログラ

- ④ 画面下部のボタン「使用許諾に同意してインストール開始」をクリックしてください。
- ⑤ 表1、表2に示す音声ファイルや設定ファイルがダウンロードされます。 (ダウンロードの途中でキャンセルすることも可能です)
- ⑥ ダウンロードが終了すると画面が図 1-3 に変わり、プログラムを起動することができます。これでインストール完了です。
   (必要な音声・設定ファイルをすべてダウンロード・保存しないとプログラムを使用することができません)
- ⑦ 画面下部のボタン「プログラムの起動」をクリックすることで、プログラムが起動します (図 1-4)。
- ⑧ プログラムは、フォルダ「c:¥OSCE¥」に保存されますので、必要に応じてプログラム のショートカットをデスクトップに作成してください。

osc	E時間管理	プログラム
(端末	用)試用版(	インストールから
ダウンロードが		W-MINIBOH COR9 1
	(c) 2010-2012 Ohibs institute of Sca	ence, Hiroyasu Ohtaka, All rights neserve
音声ファイ ・ インターネ: ・ マニュアル・	に) 2010-2012 Cheb Hatilute of Sch ノル・設定ファイルをインス ット経由でのインストール(千葉科 インストール(他のPCからコピー3	mon, Hiroyau Chtala, All rights naserva <b>ストールします</b> 学大学に接続) たる)

図 1-3

义

スクリーンセーバー設ま へい OSCE時間管 放送スケジュール ファイルの選択	プ 理プログラム(	端末用) Version: 2.2 著作・製作: 千葉科学大学 薬学部(2 ID 1 - ↓ リンク開始 ☆ 放送開始
放送予定	全ての放送予定表示	現在 時刻 16:29:44 プログラム終 管理者からメッセージがある場合は、ここに表示されます
		次のプログラム
		放送開始まで
		放送していません

<プログラムの入手方法とインストール方法(別方法)>

- (イ)「音声データを含む OSCE 時間管理プログラム」をダウンロードした場合
  - ① ダウンロードファイルは「CIS-OSCE-Full Package.zip」であり、その中にはフォルダ 「OSCE」があります。
  - ② フォルダ「OSCE」を、Cドライブにコピーします。
     (注意: その際必ず Cドライブにコピーし、「c:¥OSCE¥」が生成されたことを確認してください。
  - ③ フォルダ「c:¥OSCE¥」にある「OSCE 時間管理プログラム(端末用)」をクリックしてくだ さい。
  - ④ 図 1-1 の画面が現れ、数秒後に図 1-4 に変わり、プログラムが起動します。
  - ⑤ 必要に応じてプログラムのショートカットをデスクトップに作成してください。

## <プログラムの入手方法とインストール方法(別方法 2)>

- (ウ) プログラムがインストールされたコンピューターからデータをコピーする場合
  - ① プログラムがインストールされたコンピューターにはフォルダ「c:¥OSCE¥」が存在しま す。
  - ② このフォルダを USB メモリ等にコピーしてください。
  - ③ 別のコンピューターの C ドライブにコピーしてください。
  - ④ フォルダ「c:¥OSCE¥」にある「OSCE 時間管理プログラム(端末用)」をクリックしてくだ さい。
  - ⑤ 図 1-1 の画面が現れ、数秒後に図 1-4 に変わり、プログラムが起動します。
  - プログラムは、フォルダ「c:¥OSCE¥」に保存されますので、必要に応じてプログラム のショートカットをデスクトップに作成してください。

<インストールされるファイルの保存場所>

(重要)ファイル名・保存フォルダを変更すると、正しく動作しませんので、変更しないでください。

表 1.	重要なファイルの保存	場所

説明書での名称	保存フォルダ名	ファイル名
端末用プログラム	C:¥OSCE¥	OSCE 時間管理プログラム(端末用).exe
管理用プログラム	C:¥OSCE¥	OSCE 時間管理プログラム(管理用).exe
取扱説明書	C:¥OSCE¥	OSCE 時間管理プログラム 取扱説明
		書.pdf
音声ファイル	C:¥OSCE¥音声データ¥	ooo.wav(表2に示す)
		(ファイル名は変更できません)
放送スケジュール	C:¥OSCE¥	OSCE 放送スケジュール.csv
放送スケジュール	C:¥OSCE¥	OSCE 放送スケジュール.xls
(エクセル版)		
設定ファイル	C:¥OSCE¥設定¥	FileIndex.ini
		OSCE Program Setting.ini
時計同期用バッチファイル	C:¥OSCE¥設定¥	時計同期(同期間隔1週間:デフォル
		ト).bat
		時計同期(同期間隔 10 分間).bat

## 表 2. 放送番号と音声ファイルの名称

(70番台は、ユーザーで設定できます。ただし、ファイル名は変更できません)

放送番号	放送内容	ファイル名(変更できません)			
<初期設定>					
1	移動開始	01 移動開始.wav			
2	課題読む	02 課題読む.wav			
3	課題開始	03 課題開始.wav			
4	課題終了1分前	04 課題終了一分前.wav			
5	課題終了·移動開始	05 課題終了·移動開始.wav			
6	課題終了	06 課題終了.wav			
9	移動開始1分前	09 移動開始1分前.wav			
10	移動開始 30 秒前	10 移動開始 30 秒前.wav			
13	課題終了・フィードバック開始	13 課題終了・フィードバック開始.wav			
14	フィードバック終了・移動開始	14 フィードバック終了・移動開始.wav			
15	フィードバック終了	15 フィードバック終了.wav			
16	15 分後説明会	16 15 分後説明会.wav			
17	開始2分前	17 開始2分前.wav			
18	開始1分前	18 開始1分前.wav			
19	休憩に入る	19 休憩に入る.wav			
20	放送終了のアナウンス	20 放送終了のアナウンス.wav			
21	トライアル開始2分前	21 トライアル開始2分前.wav			
22	トライアル開始1分前	22 トライアル開始1分前.wav			
25	テストラン開始5分前	25 テストラン開始 5 分前.wav			
26	テストラン開始1分前	26 テストラン開始1分前.wav			
90	トラブル・再開のアナウンス	90 トラブル・再開のアナウンス.wav			
91	再開1分前	91 再開1分前.wav			
99	トラブル発生のアナウンス	99 トラブル発生のアナウンス.wav			
<ユーザー追加	1設定>				
70	ユーザー設定	特別 70.wav			
71	ユーザー設定	特別 71.wav			
72	ユーザー設定	特別 72.wav			
73	ユーザー設定	特別 73.wav			
74	ユーザー設定	特別 74.wav			
75	ユーザー設定	特別 75.wav			
76	ユーザー設定	特别 76.wav			
77	ユーザー設定	特別 77.wav			
78	ユーザー設定	特別 78.wav			
79	ユーザー設定	特別 79.wav			

## <プログラムのアンインストール方法>

1. コンピューターの内部時計の自動更新間隔が 10 分間隔になっている場合がありますので、 フォルダ「c:¥OSCE¥設定¥」にあるファイル「時計同期(同期間隔1週間:デフォルト).bat」を右 クリックし、「管理者として実行」してください。図 1-5 が表示されます。



図 1-5

「はい」を押すことで、コンピューターの内部時計の自動更新間隔がデフォルトの1週間間隔となります。

備考)もしこの操作を忘れた場合は、自己責任で Windows のレジストリーを以下のように変 更してください。変更方法はインターネット等で検索の程お願いします。

レジストリーキー「HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥ W32Time¥TimeProviders¥NtpClient」 サブキー 「SpecialPollInterval」 値 「604800」(10 進数)・・・ 604800 秒間隔(1 週間間隔)という意味

2. C ドライブにあるフォルダ「OSCE」(c:¥OSCE¥)を削除することでアンインストールすることができます。

## 第2章 案内放送を行う"端末用プログラム"の使用方法

## 第1節 案内放送を1台のコンピューターで放送する場合(単独使用)(管理せず)

1. フォルダ「c:¥OSCE¥」にある「OSCE 時間管理プログラム(端末用)」を起動します。

2. 端末用プログラムのメイン画面が表示されます(図 2-1)。

🚽 OSCE時間管理プログラム(端末用)	Σ
スクリーンセーバー設定 ヘルプ	
OSCE時間管理フロクラム(第	<b>和末用)</b> Version: 2.2 著作・製作: 千葉科学大学 薬学部(2012)
放送スケジュールファイルの選択 🔿 端末日	D 1 - 📫 リンク開始 📫 放送開始
リンク予新時間: 未リンク状態	
放送予定金での放送予定表示	<sup>現在</sup> 時刻 9:44:18 プログラム終了
	管理者からメッセージがある場合は、ここに表示されます
	次のプログラム
	放送開始まで
	+++++
	■ 肞达し(いません ■
	N.

3. 画面左上の「放送スケジュールファイルの選択」ボタンをクリックします。

図 2-1

4. 「放送スケジュールの管理」画面(図 2-2)で、「このコンピューターのフォルダ「c:¥OSCE¥」にあるファイルを使用」にチェックがついていること(デフォルト)を確認して、「選択完了(閉じる)」 ボタンをクリックします。

放送スケジュールファイルの選択
● このコンピューターのフォルダ「c:¥OSCE¥」にあるファイルを使用(デフォルト
◎ 他のコンピューターや他のフォルダにあるファイルを使用
放送スケジュールファイル 「OSCE放送スケジュール.csv」 の選択 C:¥OSCEなどスケジュール.csv
選択完了(閉じる)
(備考) 放送スケジュールファイルは、どのフォルダに保存しても利用することができます。
しかし、本プログラムが使用するシステムファイル(プログラム・音声データ・設定ファイルなど)は

5. 本端末で放送する、放送スケジュールの端末 ID を選択してください(図 2-3)。



- 6. 右隣の「リンク開始」ボタンを押すことで、放送スケジュールを読み込みます。
- 7. 現在の時刻が放送開始前であれば、図 2-4 のように放送予定に放送スケジュールが表示される。もしくは、現在の時刻が放送スケジュールよりも遅い場合は、図 2-5 のように「全ての放送が終了」と表示されます。

$\mathbf{X}$	● OSCE持営管理プログラム(属東用)	
$\mathbf{X}$	スクリーンセーバーBit へいブ OSCE時間管理プログラム()	端支用) Varrian 2.2 来た.制作, 千姓科学士学 業学部 (2012)
	放送スケジュール	
$\mathbf{X}$	ファイルの選択 ーー	
	放送予定	現在 時刻 <mark>9:51:58 プログラム終了</mark>
	093200 ③課題開始 093600 ④課題終了1分前	管理者からメッセージがある場合は、ここに表示されます
$\mathbf{X}$	★ 09 37 00 @課題終了 10 13 00 @開始2分前	次のプログラム 10:13:00
$\sim$	10.14.00 @開始1分前 10.15.00 ①移動開始	①開始2分前
$\mathbf{X}$	10.16.00 ②課題読む 10.17.00 ②課題開始	
$\mathbf{X}$	1021.00 @課題終了1分前 1022.00 @課題終.移動開始	<b>瓜达開始まじ</b>
	102300 ①移動開始 102400 ②課題読む	++
$\sim$	102500 @課題開始 102900 @課題終了1分前	放送していません
网 2 4 現在の時刻が按洋開始前の相	103000 ⑤課題終. 移動開始	
図 2-4 現住の時刻が放送開始前の場合		
	SOCIANTERTOTISA (MERI)	
	スケッシャーバー接 ヘルプ	
	放送スケュール 二 端末	ID 5 - リンクダル 放送開始
	リンク更新時間: 212/03/22 16:58:20	
	放送予定 ての放送予定 表示	現在 時刻 16:58:54 プログラム終了
		管理者からメッセージがある場合は、ここに表示されます
		次のプログラム 10:13:00
		全ての放送が終了
		# 洋胆松士石
		瓜达開始まで
図15 相左の時刻がお送ったジョン		収速していません
凶2-3 坑住の時刻が放达ヘインユール		<b>"/</b>

8. 図 2-4 のように放送スケジュールが表示されている状態で、「放送開始」ボタンを押してください。

9. メイン画面の背景がピンク色になり、放送開始までの時間が表示されます(図 2-6)。



- 10. 放送開始までの時間が0になると、次のプログラム「17 開始2分前」(本例では)のアナウンス が放送されます。
- 11. 放送スケジュールに記載された放送が終了するまで、放送が行われます。全ての放送が終了すると、図 2-7 のように表示されます。

スクリーンセーバー設定 ヘルブ OSCE時間管理プログラム(ジ 放送スケジュール ファイルの選択	端末用) Version 22 若市・製作:千葉科学大学 薬学部() ID 5 - ☆ 強制リンク ☆ 放送停.
リンク更新時間: 2012/03/22 165459 放送予定 全ての数法予定	現在 時刻 16:55:03 放送中 管理者からメッセージがある場合は、ここに表示されま
	<sup>次のプログラム 10:13:00</sup> 全ての放送が終了 <b>放送開始まで</b>
	放送していません

12. 案内放送を終了する場合は、メイン画面の右上の「放送停止」ボタンを押してください。 図 2-8 が表示されますので、終了する場合は「はい」、放送を続ける場合は「いいえ」を押して

ください。

図 2-6

2	放送を停止	しますか?
ſ	(±L)(Y)	しい」え(N)

13. 本プログラムを終了する場合は、放送スケジュールとのリンクを解除する必要があります。 メイン画面の右上の「リンク停止」ボタンを押すことで図 2-9 のようになりますので、次に「プログ ラム終了」ボタンを押して、プログラムを終了してください。



14. <備考> 放送スケジュールに登録された放送内容を表示する場合には、メイン画面の放送 予定表にある「全ての放送予定 表示」を押してください。図 2-10 が表示され、スクロールす ることで、全てのスケジュールを確認することができます。

🖷 放送スケジュ・	-ıı	x
全放送	きスケジュール 閉じる	
7:30:00	①移動開始	•
7:30:30	②課題読む	
7:31:00	③課題開始	
7:31:30	④課題終了1分前	
7:32:00	⑤課題終、移動開始	
7:32:30	⑥課題終了	
7:40:00	①移動開始	
7:40:30	②課題読む	
7:41:00	③課題開始	
7:41:30	④課題終了1分前	2
7:42:00	⑤課題終、移動開始	
7:42:30	⑥課題終了	
7:50:00	①移動開始	
7:50:30	②課題読む	
7:51:00	③課題開始	
7:51:30	④課題終了1分前	
7:52:00	⑤課題終、移動開始	
7:52:30	⑥課題終了	
8:00:00	①移動開始	
8:00:30	②課題読む	-

図 2-10

- 15. (追加機能:手動での放送スケジュールの更新) 放送スケジュールを更新する場合は、 次の手順を取る必要があります。
  - (ア)エクセル等を使用し、放送スケジュールを変更してください。
  - (イ) エクセル等を使用する場合は、必ず、CSV(カンマ区切り)形式で保存してください。
  - (ウ) 放送スケジュールのファイルを、「C:¥OSCE¥OSCE 放送スケジュール.csv」と置き換えてく ださい。(直接このファイルを編集して頂いても OK です)

(重要)この状態では、端末用プログラムの放送スケジュールは更新されません。

(エ)メイン画面の「強制リンク」ボタンを押すことで、放送スケジュールが更新されると共に、 リンク更新時間が更新されます。



16. (追加機能: 放送内容の記録(放送ログ)) 放送した内容と時刻が、以下の記録内容の例の ように記録されます。この放送ログの記録場所はフォルダ「C:¥OSCE」です。ファイル名は 0305-log 1.log(日付と端末 ID 番号を示します)。

記録内容は、「放送スケジュール」を読み込んだ時間、放送した時刻・内容とその放送スケジュールが記録されたファイル QSCE 放送スケジュール csvyの行番号です。

<記録内容の例>

,放送プログラムを読み込みました。2010/01/24 08:09.37, コメント:

32,8:20:00,1,①移動開始 33,8:20:30,2,②課題読む 34,8:21:00,3,③課題開始

- 35,8:21:30,4,④課題終了1分前
- 36,8:22:00,5,⑤課題終了、移動開始
- 37,8:22:30,6,⑥課題終了

放送終了後、放送ログが不必要な場合は、削除してください。

## 第2節 任意のフォルダにある放送スケジュールを用いる場合

- 1. プログラムがインストールされたコンピューターだけでなく、ネットワーク上の共有フォルダ上に ある放送スケジュールも読み込み、放送できます。
- 2. OSCE 時間管理プログラム(端末用)を起動します。
- 3. 端末用プログラムのメイン画面が表示されます(図 2-12)。

	IOSCINETE#70/79.4 (編末期)         □           スタリーシャーパー転         ペロ           SOSCE時間管理プログラム(端末用)         Version 2.2           教授スケジュール ファイルの変更         ・           端末ID1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	30.79年期時期 #32.500mm     30.500mm     30.500mm
	次のプログラム
	放送開始まで
	放送していません
図 2-12	

- 4. 画面左上の「放送スケジュールファイルの選択」ボタンをクリックします。
- 5. 「放送スケジュールの管理」画面(図 2-13)で、「他のコンピューターや他のフォルダにあるファ イルを使用」にチェックを付け、その下のボタン「放送スケジュールファイルの選択」をクリックし ます。



## 図 2-13

- 6. 任意の放送スケジュールファイルを開きます。その際、ファイル名は「OSCE 放送スケジュール」 でなくてもよく、ネットワーク 上の共有フォルダでもよいです。ただし、ファイル形式は、CSV (カンマ区切り)形式であることが条件です。
- 7. 選択されたファイルが図 2-13 に表示されたことを確認し、「選択完了(閉じる)」ボタンをクリック します。
- 8. 以下の操作手順は、第2章第1節の端末プログラム(単独使用)と同様となります。

## 第3節 放送スケジュールの設定

プログラムに同封する放送スケジュール(エクセル版)を基に作成して頂くと簡単に作成できます。 1. フォルダ「C:¥OSCE¥」にある「OSCE 放送スケジュール.xls」を開きます。

2. 図 2-14 が表示される。

19 771/k(E)	·xca) = 0.5ca 編集( <u>E</u> ) 表示	時间18里 (⊻) 挿入(	(0) た客 (1	ツール(D	データ( <u>D</u> )	ウィンドウ()	) ヘルプ(日)					質問を入	力してください
0 💕 🖬 🖉	3 3 3 8	🗅 🖪 ·	· / ·) ·	(* -   🗟	$\Omega f_{x} \Sigma$	- 21 X1	85	8	12 • 2			2 -	
MS Pゴシック	• 11 •	A A	BIU		B 1	III 🗐 🗐	🦻 % , 🤹	00 .00 I I	- 🔃 🗐 🕂	🙆 • 🛕	• -		
K29	-	<i>f</i> 5							-				
A	B 催末ID 1	C	D 端支ID 2	E	F 端末ID 3	G	H 端支ID 4	I	J 催末ID 5	K	ビオロの	M	N 端支ID 7
	「小田」		「「「「「「「」」」		の小部長		か数字1		(の)約(空)		/51/44日前		·····································
2	公子主控主		③但前经美		@小品/座		(9/4)(至)		94%至2		2月1月1歲2歲1月		
3 4 テスト放送	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00
5	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30
6	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00
7	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30
9	73230	6	7:32:00	6	7:32:30	6	7.32.30	6	7:32:00	6	7:32:00	6	7:32:30
10					1.00.00		10000		10200		1.02.00		10000
11 テスト放送	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00
12	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30
13	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00
15	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00
16	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30
17													
18 テスト放送	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00
20	7:50:30	3	7:50:30	3	7:50:30	3	7.50.30	3	7.50.30	3	7:51:00	3	7:50:30
21	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30
22	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00
23	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30
24 05 テフトth洋	9.00.00	1	0.00.00	1	0.00.00	1	900.00	1	0.00.00	1	9.00.00	1	0.00.0
20 77 1002	80030	2	8:00:00	2	8:00:00	2	80030	2	800:00	2	8:00:00	2	80030
27	8:01:00	3	8:01:00	3	8:01:00	3	8.01:00	3	8:01:00	3	8:01:00	3	8:01:00
28	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30
29	8.02.00	5	8:02:00	5	8:02:00	5	8.02.00	5	8:02:00	5	8:02:00	5	8:02:00
30	8:02:30	0	8:02:30	D	8:02:30	b	80230	D	8:02:30	D	8:02:30	D	8:02:30
32 テスト放送	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00
33	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30
34	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:0
35	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:3
37	8:2200	5	8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00
38	0.2200		0.22.00		0.12.00		0.200		0.22.00		0.22.00		0.02.00
39 说明会15分前	前 <u>8:45:00</u>	16	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00
40 説明会(9:00-	-905)												
41 11 11多重刀(9:05-05	5.107											-	
43 ステーション	での順期		1										
44 開始1分前	9:30:00	26	9:30:00	26	9:30:00	26	9:30:00	26	9:30:00	26	9:40:00	26	9:40:00
45 テストラン	9:31:00	2	9:31:00	2	9:31:00	2	9:31:00	2	9:31:00	2	9:41:00	2	9:41:00
46	9:32:00	3	9:32:00	3	9:32:00	3	9:33:00	3	9:32:00	3	9:42:00	3	9:42:00
47	9:36:00	4	9:36:00	4	9:35:00	4	9:37:00	4	9:36:00	4	9:46:00	4	9:40:00
49 各ステーショ	ンでの質疑応答	-	0.0.00		0.01.00				0.0.00		0.1100		
H I F H CG	CE時間管理/							4	<	001			
	The research				1.55	AL 25	a						

- 3. 放送スケジュール(エクセル版)の<u>A列(1番左の列)は、コメントを記載する欄です。自由に設</u> <u>定することができます。</u>ただし、セル A1(列 A の 1 行目)には何も記載しないでください。
- その右側には、端末ごとに、放送時間と放送番号が記載されます。
   2 音声ファイルの名称に従って入力します。
   ただし、放送番号「0」は、無視され、放送されません(例はプログラムをダウンロードした際に保存されている放送スケジュールのエクセル版です。
   セル C137 のように)。
- 5. 放送スケジュール(エクセル版)の上2行(行番号1、2)には、端末IDと端末名称が記載され ます。端末名称は、管理用プログラムに表示されるので、5文字までの分かりやすい単語で記 載してください。

- 全ての放送開始時間を入力するのは、大変の手間が掛かり、入力間違いを起こし易いので、 同封する放送スケジュール(エクセル版)のように、数式を使って、放送時間を入力すべきと 考えます。
  - (例) セル B53 に「9:54:00」を入力します。
     セル B52 に「9:53:00」を入力したい場合は、セル B52 に「=B53-1/60/24」と入力 するとよい。
     エクセルでは、あるセル(時刻表示形式)に「+1」は、「+1 日」を示します。
     同様に、「+1/24」は「+1 時間」、「+1/24/60」は「+1 分」、「+1/24/60/60」は「+1 秒」 を示します。
     同封する放送スケジュール(エクセル版)では、午前の放送は「セル B53」の時間を基準

# に、午後の放送は「セル B180」の時間を基準に自動的に調整されます。また、テストランの放送は「セル B44」の時間を基準に自動的に調整されます。

- 7. 放送スケジュールを作成し、放送番号、放送時間に間違いがないか再度確認を取ります。
- 8. エクセルで作成した放送スケジュールをエクセル形式で保存します。
- 次に、CSV(カンマ区切り)形式で次のように保存します。タブ「ファイル」の「名前を付けて保存」を選択すると、図2-15が表示されます(Excel 2003版では、Excel2010版でも同様の画面)。 そして、「ファイルの種類」で「CSV(カンマ区切り)」を選択し、保存する。その際、ファイル名は任意に変更できます。

名前を付けて床	存			?
保存先(]):	🞯 デスクトップ	🕑 🕲 - 🖄 I 😋 🗙 🔛 🛽	- ツー	·//(L) +
最近使売ド キュメント デスクトップ マイ ドキュメント				
₹1 <u>2</u> 722-9	ファイル名(1):	OSCE時間管理	<b>~</b> (	保存( <u>S</u> )
71 2021-9	ファイル名(N): ファイルの種類(T):	OSCE時間管理 CSV (カンマ区切り)	<ul><li>✓ (</li></ul>	保存(S) キャンセル
71 IVI-9	ファイル名( <u>N</u> ): ファイルの種類( <u>T</u> ):	OSCE時間管理 CSV (カンマ区切り) テキスト (みづ区切り) Unicode テキスト	<ul> <li>(</li> <li>(&lt;</li></ul>	保存(S) キャンセル

10. CSV(カンマ区切り)形式のファイル「OSCE 放送スケジュール.csv」を直接編集することは避け るべきです。可能ですが避けてください。

## 第3章 遠隔監視・管理を行う"管理用プログラム"の使用方法

## 第1節 遠隔監視のためのネットワーク設定

(重要) ネットワーク設定は大学により仕組みや設定が異なるため、コンピューターに詳しい教職 員にお尋ねして頂くことをお勧めする。

管理用コンピューターの任意のフォルダを共有フォルダに設定します。
 例: ¥¥OSCE-PC01¥OSCE-Kanri

2. 管理用コンピューターに、新しいユーザーアカウントを作ります

- (ア) Windows の「コントロールパネル」から「ユーザーアカウント」を開きます
- (イ)「新しいアカウントを作成する」を選び、「OSCE」など任意の名前を入力します
- (ウ)「コンピューターの管理者」を選択し、「アカウントの作成」を押します
- (エ)新しく作成したアカウントを選択し、「パスワードを作成する」を押します
- (オ) パスワード「OSCE2012」(任意)を設定します
- 3. 管理用コンピューターと端末用コンピューターを LAN ネットワークに接続します。 注意:通信回線が不安定な無線 LAN では接続しないでください。
- 4. 端末用コンピューターから、管理用コンピューターの共有フォルダに参照設定を行う
  - (ア) 端末用コンピューターにおいて、マイコンピュータを開く
  - (イ)「ネットワークドライズの割り当て」を押す
  - (ウ) 図 3-1 のフォルダの欄に、「¥(管理用コンピューターのコンピューター名)¥(共有フ オルダ名)」と入力する。もしくは、参照ボタンから探し出す。



\*\*\*\*\*\*

パスワード(P):

図 3-2

OK

キャンセル

- (オ)ファイヤーウォールの設定が正しくされている場合は、フォルダが開き、管理用コン ピューターの共有フォルダを参照できます。フォルダは閉じてください。
- (カ)同様の操作を、各端末用コンピューターで行ってください。
- 5. (必要ならば)管理用コンピューターのファイヤーウォールの設定変更

端末用コンピューターがネットワークを介して、管理用コンピューターにアクセスする必要があります。そのため、管理用コンピューター及び端末用コンピューターのファイヤーウォールの設定を変更し、端末用コンピューターが管理用コンピューターのファイヤーウォールの設定は、搭載しているセキュリティーソフトにより設定方法が異なるため、手順は掲載しません。コンピューターに詳しい教職員にお尋ねして頂くことをお勧めします。または、遠隔監視する際のみ、ファイヤーウォールをOFFにして頂いても使用することができます。

(備考)使用終了後、以前の状態に戻されることをお勧めします

## 第2節 遠隔監視・管理を行う"管理用プログラム"の使用方法

1. フォルダ「c:¥OSCE¥」にある「OSCE時間管理プログラム(管理用)」を起動します。

2. 管理用プログラムのメイン画面が表示されます。(図 3-3)。

<ul> <li>OSCE時間間理プロ メッセージ法信</li> <li>OSCE時間</li> </ul>	クラム (管理用)	<sup>表示/#表示</sup> ゲート(答	理田),	-i	莱康、制度、 ゴ	***	(2012)
現在 時刻 00	:00:00		ケジュール ルの設定			##FIDの 設定	終了
l l	管理PCの	設定」を	行い ⇒	「監視開	始」を押し	してください	い 
			3	4	Э		
コメント							
	/						

 画面上の「放送スケジュールファイルの設定」ボタンをクリックします。
 「放送スケジュールの管理」画面(図 3-4)で、「他のコンピューターや他のフォルダにあるフィ ルを使用」にチェックを付け、その下のボタン「放送スケジェールファイルの選択」をクリックしま す。





- 4. 任意の放送スケジュールファイルを開く。その際、ファイル名は「OSCE 放送スケジュール」で なくてもよく、ネットワーク 上の共有フォルダでもよいです。ただし、ファイル形式は、CSV(カ ンマ区切り)形式である必要があります。
- 5. 選択されたファイルが図 3-4 に表示されたことを確認し、「選択完了(閉じる)」ボタンをクリック します。

6. 画面上の「監視開始」ボタンを押します。管理画面の背景がピンク色になり、放送スケジュー ルが読み込まれ、表示されます。(図 3-5)。

現在 18	3:58:2	29 <sup>放送</sup> ファ	スケジュール イルの設定	「「「「「「「」」」		端末IDの 設定	終了
HU XU						1	
端末ID	1	2	3	4	5 /	6	7
▶ 放送まで	①移動開始	③移動開始13	⑤課題終、移動	⑤課題終、移!	①移動開始	①移動開始	①移動開始
あと	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了
コメント	②学生控室	③直前控室	④小部屋	⑤教室1	⑥教室2	⑦待機場所	⑧大部屋
テスト放送	7:30:00 1	7.30.00 1	7.30:00 1	7:30:00 1	7.30.00 1	7:30:00 1	7:30:00 1
	7.30.30 2	7:30:30 2	73030 <b>2</b>	7:30:20 2	73030 2	73030 2	7.30.30 2
	7.31.00 3	7.31.00 3	7.31.00 3	7 51.00 3	7.31.00 3	7.31.00 3	7.31.00 3
	7:31:30 4	73130 4	73130 4	73130 4	73130 4	73130 4	7.31.30 4
	7.32.00 5	7.32.00 5	7.32.00 5	7.32.00 5	7.32.00 5	7.32:00 5	7.32.00 5
	73230 6	7.32.30 6	7.32.30 6	73230 6	73230 6	7.32.30 6	73230 6
テスト放送	7:40:00 1	7:40:00 1	7 000 1	7.40.00 1	7:40:00 1	7.40.00 1	7.40.00 1
2 2 1 BAAG	7:40:30 2	7:40:30 2	7.40.30 2	7.40.30 2	74030 2	7 40 30 2	7:40:30 2
	7:41:00 3	7.41.00 3	7.41.00 3	7:41:00 3	7:41:00 3	7.41.00 3	7:41:00 3
	7:41:30 4	7:41:30 4	7:41:30 4	7:41:30 4	7:41:30 4	7:41:30 4	7:41:30 4
	7:42:00 5	7:42:00 5	7:42:00 5	7:42:00 5	7:42:00 5	7:42:00 5	7:42:00 5
	7.42.30 6	7.230 6	7.42.30 6	7.42.30 6	7.42.30 6	7.42.30 6	7.42.30 6

7. 画面上の「端末 ID の設定」ボタンを押してください。図 3-6 が表示されます。

図 3-5

図 3-6

- ① 端末名称は、放送スケジュールのファイルに記載した名称が表示されます
- ② 端末 中と自動停止位置の表記は、初期設定で図 3-6 のようになっています。
- ③ もし、使用する端末 ID が 1~7 でない場合は、不必要な端末 ID のチェックを外すことで、 無効化されます。
- ④ 自動停止位置は、緊急停止プログラムで用いる設定です。緊急停止プログラムとは、 OSCEを継続できないようなトラブルが発生した際に、案内放送を緊急停止することがで きるプロズラムです。緊急停止プログラムを使用するためには、停止指示を放送できる箇 所を事前に決定し、案内放送リストから選択する必要があります。
  - (例) OSCE 実施の際は、「課題終了時」、「フィードバック終了時」、「移動開始時」に 設定するよいでしょう。

端末的	端末名称	自動停止位置		端末ID	端末名称	自動停止位置	
PID 1	②学生控室	①移動開始	•	□ ID 11		①移動開始	1
v ID 2	③直前控室	③移動1分前	•	□ ID 12		③移動1分前	
⊽ ID 3	④小部屋	⑤課題終・移動	•	⊏ ID 13		⑤課題終・移動	
⊽ID 4	⑤教室1	⑤課題終・移動	•	□ ID 14		⑤課題終・移動	
⊽ID 5	⑥教室2	①移動開始	•	⊏ ID 15		①移動開始	1
⊽ID 6	⑦待機場所	①移動開始	•	⊏ ID 16		①移動開始	
∝ ID 7	⑧大部屋	①移動開始	•	□ ID 17		①移動開始	
TID 8		<設定なし>	-	⊏ ID 18		<設定なし>	1
TID 9		<設定なし>	÷	⊏ ID 19		<設定なし>	
TID 10		< <p></p>		□ ID 20		<設定なし>	

8. 「表示する端末 ID の設定」が終わりましたら、「閉じる」ボタンを押してください。

9. 管理用メイン画面の放送スケジュールの一部に黒枠が表示されます。表示されていない場合は、縦スクロールすることで見つけることができます。この黒枠は、緊急停止プログラムで設定した自動停止位置を表しています。通常は、設定した番号(例:5番、課題終了・移動開始)に表示されますが、案内放送開始前に「17開始2分前」、「18開始1分前」を放送スケジュールに組み込んでいる場合は、それらの部分も自動停止位置として認識されます。

時刻 09	9:53:C		スケジュールイルの設定			過来回の設定	終了	
<mark>端末ID</mark> 放送まで あと	<b>1</b> ①移動開始 00:00:58	2 ③移動開始13 開始前	3 》課題終、移 開始前	4 ⑤課題終、移] 開始前	5 ①移動開始 開始前	6 ①移動開始 開始前	<b>7</b> ①移動開始 開始前	自動スクロール解説
コメント 開始1分前 テストラン	②字生控室 9:30:00 26 9:31:00 2 9:32:00 3 9:36:00 4 0:23:200 6	③ 直則控至 930.00 26 931.00 2 932.00 3 936.00 4 936.00 6	④小部屋 930:00 26 931:00 2 932:00 3 936:00 4	⑤教至1 930:00 26 931:00 2 933:00 3 937:00 4	⑤教室2 9:30:00 26 9:31:00 2 9:32:00 3 9:36:00 4	⑦待機場所 9:40:00 26 9:41:00 2 9:42:00 3 9:46:00 4	⑧大部室 9:40:00 26 9:41:00 2 9:42:00 3 9:46:00 4 9:46:00 6	
各ステーションて 開始5分前 開始1分前	9.52.00 <b>17</b> 9.53.00 <b>18</b>	55800 17	958:00 <b>17</b> 959:00 <b>18</b>	83800 0	33700 0	9,47,00 0	9.47.00 0	
Group 1	954.00 1	95900 9 100000 <b>1</b>	10.00.00 <b>1</b> 10.01.00 <b>2</b> 10.02.00 <b>3</b> 10.06.00 <b>4</b>	10.05.00 17				

10. (重要)本管理用プログラムでは、時間経過に応じてスクロールする自動スクロール機能を 有しております。そのため、任意に縦スクロールした場合でも、20 秒ごとにプログラムが自動 的に適正位置に移動させます。その機能を解除する場合は、自動スクロール解除にチェック を入れてください。

<自動スクロール機能の詳細>

2 つの機能があります。

図 3-7

- 時間経過に応じてスクロールする自動スクロール機能
- 放送スケジュールが組まれているにも関わらず、放送エマー(放送していない、放送 内容が異なるなど)が生じた場合に、その箇所を明確にするため、放送エラー箇所を 表示する機能です。

(使用例) デモ放送スケジュールでは、早朝にテスト放送が設定されております。それら が放送されていない場合は、自動スクロールしてそれらを表示する場合があります。

(放送エラーの解除方法) 放送エラーに問題ないと確認されたならば、左端カラムでダ ブルクリックして頂くと、図 3-8 が表示され、「はい」を選択することで、クリックした位置より も上方データのエラーが解除され、時間経過に応じて自動スクロールを行います。



図 3-8

11. 端末用コンピューターにより、適切に案内放送が行われると、端末用コンピューターは管理用 コンピューターに放送ログを記録します。その放送ログを管理用プログラムが読み取ることで、 放送したスケジュールを青色にして表示します(図 3-9)。放送エラー(放送内容が違う)が生じ た場合は、黄色になり、その箇所にカーソルを合わせて頂くことで、誤った内容が表示します。 通常の場合、放送番号にカーソルを合わせると、放送内容を表示します。



12. 管理用プログラムを終了する場合は、遠隔監視を停止する必要がありますので、「監視停止」 ボタンを押してください。図 3-10 が表示されますので、「はい」を押すことで遠隔監視が停止し ます。メイン画面が図 3-11 のようになりますので「終了」ボタンを押すことでプログラムが終了 します。



13. (追加機能:メッセージ送信) 管理用コンピューターから、端末用コンピューターにメッセージを送信する

左上にある「メッセージ送信」を押すことで、図 3-13 が表示されます。空欄にメッセージを書 き、「送信」を押すとで送信されます。ただし、空欄の幅を超える文字は表示されませんので、 ご注意ください、以前に送信した文章がそのまま残っていますので、文章を削除したい場合 は、「削除」と「送信」を押すことで、端末用コンピューターへの、ッセージが削除されます。



14. (追加機能: 緊急停止プログラム) 受験学生が倒れるなど、OSCEを継続できないような事態 が生じた場合、OSCE を一時中断する必要があります。しかし、OSCE を実施する際に多くの 部屋を利用している場合が多く、各部屋への迅速な連絡は難しいと考えられます。

この管理用プログラムでは、このような状況に対応するために、追加機能「緊急停止プログ ラム」を有します。手順8で示したように、予め停止可能な放送箇所を指定しておくことで(例: 課題終了時)、トラブル発生時に「緊急停止ボタン」(通常は非表示)を押すことで、設定した 箇所で案内放送を自動停止します。また、放送内容も自動的に変更し、停止時の指示も放送 で行います。以下に、その緊急停止の方法を記載します。

<緊急停止の仕方>

义

① メイン画面の上にある「緊急停止ボタンの表示/非表示」を押してください。

			設定	→ 停止		設定	
端末ID	1	2	3	4	5	6	
放送まで	①移動開始 00-07-57	③移動1分前 00-04-57	回課題終·移動	⑤課題終・移動	①移動開始 00-04-57	①移動開始	①移1
TX'A DE	00.07.57	③直前按室	00:04:57	6.教室1	6款室?	00:00:57	@ t
	155100 1	155600 9	O'T UPIL	o bill.	O DLL	CTTTR INT	
Group 25		1557.00 1	1557-00 1		1556.00 1	1559.00 9	16:00
			155800 2	1557:00 2	155700 2	16:00:00 1	16.01
			1559.00 3	1559.00 3	1558.00 3		16.02
			16:03:00 4	16.03.00 4	16.02.00 4		16:06
			16:04:00 5	16.04:00 5	16:03:00 5		16:07
	15.59.00 1	16.04.00 9					
Group 26		16.05.00 1	16:05:00 1		16.04.00 1	16,07.00 9	16:08
			16:06:00 2	16:05:00 2	16.05.00 2	16.08:00 1	16:09
			16:07:00 3	16.07.00 3	16.06.00 3		16:10
			16:11:00 4	16:11:00 4	16:10:00 4		16:14
	100700	161200 0	10:12:00 5	101200 5	10:11:00 5		10:15
Group 27	16.07.00	161200 9	161300 1		161200 1	161500 9	16.16
and the same as if		101000	1010-00 1				

② メイン画面上部に「緊急停止」ボタンが表示されます。「緊急停止ボタンの表示/非表示」 を再度押すと、「緊急停止」ボタンはなくなります。



③「緊急停止」ボタンを押すと、図 3-16 のように、黒枠の箇所の放送内容が変更され(例: 「5 課題終了・移動開始」から「停止表示」に変更)/その下に、同時刻に「6 課題停止」、 その直後に「99 トラブル発生のアナウンス」が予約されます。以後の放送スケジュールは 自動的に1時間繰り下がります。ここで、緊急停止した場合でも現在行っている課題の進 行に影響しません。

_							1		
	OSCE時間管理;	ログラム(管理用)					/		×
	OSCE時	間管理プロ	コグラム(智	曾理用) ver	ion: 1.2.1 📑	音作・製作: 手	葉科学大学家	<b>美学部(2010</b> )	)
	現在 1.	5 <mark>:59:</mark> 4	17		ブロ	コグラム再開	1		
	端末ID	1	2	3	4	/5	6	7	自 款 7
	放送まであと	①移動開始 01:00:13	③移動1分前 01:00:13	⑤課題終・移動 0100:13	⑤課題終・移動 01:00:13	①移動開始 Ø1:00:13	①移動開始 01:00:13	①移動開始 01:00:13	シロンル
	コメント	②学生控室	③直前控室	④小部屋	⑤教室1	⑥教室2	⑦待機場所	⑧大部屋	1
	トラブル 発生 15 59:42	15.51.00 1	155600 9 155700 1	1557.00 <b>1</b> 1558.00 <b>2</b> 1559.00 <b>3</b>	1557.00 2 1559.00 8	155600 <b>1</b> 155700 <b>2</b> 155800 <b>3</b>	1559:00 9 16:00:00 止	160000 <u>I</u> E 160006 <b>99</b>	
			100100 1	16:03:00 4 16:04:00 止	16.03.00 4 16.04.00 止	16.02.00 <b>4</b> 16.03.00 <b>5</b>	16.00.06 <b>99</b>		
		12:23:00	16:04:00 IE	16.04.00 6	16.04.00 6	16.04.00 JE			
			16.04.06 <b>99</b>	16:04:06 <b>99</b>	16:04:06 <b>99</b>	16.04.06 <b>99</b>			
		16.07.00 止							ſ
		16.07.06 99							-
5 🛓	立右スクロールロック ▼	•						•	

④ 緊急停止プログラムにより、放送スケジュールが変更されると、その情報は端末用プログラムに送信され、端末での放送スケジュールが直ちに変更されます(およそ 5 秒で更新されます)。端末の放送スケジュールが変更されたことを確認するため、更新された端末については、端末 ID の欄に、「update」と表示されます。全ての端末が更新されると、「88:88 に全ての端末のプログラムを更新しました」とメッセージが表示され、「update」の表示はなくなります。

, , , ,		<u> </u>							
	OSCE時間管理プ	ログラム(管理】用)							×
	メッセージ送信	緊急停止ポタンの表	示/非表示		_				
	OSCE時	間管理プロ	コグラム(管	管理用) ver	ion: 1.2.3	著作・製作:千	葉科学大学 葇	◎学部(2010)	
	現在 月2	3:1 <mark>2:1</mark>	8	理PCの 設定	⇒ 監視 停止		また 設定	終了	
	端末ID	updated	updated	updated	updated	updated	updated	updated	自動ス
図 3-17	(放送まで	①移動開始	⑨移動1分前	⑤課題終・移動	⑤課題終・移動	①移動開始	①移動開始	①移動開始	001

⑤ トラブルが解決し、再開する場合は「プログラム再開」ボタンを押すことで、図 3-19のように約1分後に「90トラブル・再開アナウンス」が放送スケジュールに予約されます。通常の案内放送の時間は停止時の状況に応じて放送時間が変更されます。通常放送に戻る1分前に、「91再開1分前」が放送スケジュールに予約されます。

(注意)緊急停止時間は1時間です。停止から1時間経過すると、自動的に通常の案内放送を開始しますので、それまでに、トラブルから復帰して頂きますよう、お願いします。



(追加機能:管理コンピューターから手動での放送スケジュールの更新) 放送スケジュールを管 理用コンピューターから更新する場合は、次の手順を取る必要があります。

- ① エクセル等を使用し、放送スケジュールを変更してください。
- ② エクセル等を使用する場合は、必ず、CSV(カンマ区切り)形式で保存してください。
- ③ 現在使用している放送スケジュールのファイルに置き換えてください。(直接このファイル を編集して頂いても OK です)

(重要)この状態では、管理用、端末用共に、更新されません。

④管理画面のタブ「放送スケジュールの手動更新」をクリックしてください。



⑤ 端末の放送スケジュールが更新されると、端末 ID の欄に、「update」と表示されます。全ての端末が更新されると、「88:88:88 に全ての端末のプログラムを更新しました」とメッセージが表示され、「update」の表示はなくなります。

	● OSCE時間管理プログラム(管理用)	×
	メッセージ送信 緊急停止水欠いの表示/非表示	
	<b>OSCE時間管理プログラム(管理用)</b> Version: 12.3 著作・製作: 千葉科学大学 薬学部 (2010)	
	現在 時刻 13:12:18 <sup>管理PCの</sup> 会 監視 会 端末IDの 設定 終了	
図 3-21	端末ID updated upda	動スクロー

## 第4章 OSCE、OSCEトライアルでの本番使用

操作方法に関しては変更ありませんが、注意事項を書かせて頂きます。

<注意事項>

1. すべてのコンピューター内蔵の時計を合わせる

コンピューターの時計を基準に、放送を行うため、コンピューターの時計が正しくない場合、 端末間で案内放送のタイミングが合わない場合がある。このタイミングのずれを無くすため、 本プログラムでは、インターネット上のタイムサーバーを利用して自動的に時計の時刻を更新 します(10分間隔)。正しく時刻が更新されるかの確認のため、端末用プログラム・管理用プロ グラムがインストールされたコンピューター<u>すべて</u>において、次の操作を行ってください。<u>ただ</u> し、管理用プログラムでは以下の操作ができませんので、端末用プログラムを立ち上げ、設定 後に管理用プログラムをご利用ください。

(ア)端末用メイン画面(図 4-1)のタブ「時計の自動同期」の「時計の自動同期の実施(10 分間隔)」をクリックします。



(イ) 図 4-2 のような「ユーザー アカウント制御(UAC)」画面が現れます。「はい」をクリック することで、レジストリーを変更し、コンピューターの時計の自動更新を 10 分間隔に 変更されます。参考:起動ファイルは「c:¥OSCE¥設定¥時計同期(同期間隔 10 分 間).bat」。



- (ウ) (変更を元に戻すためには)再度、タブ「時計の自動同期」の「時計の自動同期の実施(10分間隔)」をクリックすると、デフォルト状態である「1週間間隔」に更新間隔が変更されます。
- (エ)上記作業だけでは、時計の自動同期が実施されない場合がありますので、次のページの操作を必ず実行してください。

(オ) Windows デスクトップ右下に表示されている時計をダブルクリックしてください。 (カ)図 4-1 が表示されます。そのタブ「インターネット時刻」を選択します。

Β	月	火	水	*	金	±	·		•
7	8	9	10	11	12	13			))
14	15	16	17	18	19	20		1	
21	22	23	24	25	26	27			
28	29	30	31					•	
							16: 41	: 57	

「一個人」(画面は Windows XP の場合)

(キ) Windows XP の場合は、図 4-2 のように画面が変わります。「今すぐ更新」を押し、暫く お待ちください(Windows7の場合は、次のページ参照)。

	日村と時刻のプロパティ	
	<ul> <li>日付と時刻 タイム ゾーン インターネット時刻</li> <li>✓ 自動的にインターネット時刻サーバーと同期する(S) サーバー: time.windows.com</li> <li>✓ 今すぐ更新(U)</li> <li>time.windows.com と同期中(こエラーが発生しました。</li> </ul>	
	次回の同期 2010/03/24 1643 コンピュータがインターネットに接続している場合にのみ同期は行われます。詳細について は、ヘルプとサポート センターの <u>時刻の同期</u> 」を参照してください。	
図 4-2	OK キャンセル 適用( <u>A</u> )	┘ (画面は Windows XP の場合)

(ク) 矢印の箇所に、「時刻は正常に 2010/88/88 88:88 に 00000と同期しました。」と表 示される場合は正しく時刻の更新が出来ております。問題ありません。

しかし、「00000と同期中にエラーが発生しました。」と表示される場合は、自動で時刻を 更新できません。時計サーバー名が間違っている状況です。そのため、案内放送のタイ ミングがずれますので、コンピューターに詳しい教職員にお尋ねください。質問内容:「時 計の時刻を自動更新したいです。時計サーバーをどのように設定したらよいですか?」

(ケ) Windows7 の場合には図 4-3 のようになる。

ſ	計 日付と時刻	
	日付と時刻」追加の時計「インターネット8時刻」	
	と自動的に同期するように設定されています。 タイムサーバー名	
	次回の同期: 2012/03/31 13:22	
	時計は正常に 2012/03/24 13:22 に 10.208.1.2 と同期しました。	
	😵 設定の変更(C)	
	インターネット時刻の同期とは何ですか?	
	 OK   「キャンセル     適用(A)	
図 4-3		(画面は Windows 7

(コ)ボタン「設定の変更」をクリックします。

(サ)図 4-4 のように画面が変わります。「今すぐ更新」を押し、暫く待ってください。

	ペンターネット時刻設定 スレンターネット時刻設定を構成します:
	サーバー(E): time.windows.com - 今すぐ更新(U)
	time.windows.com と同期中にエラーが発生しました。 タイムアウト期
	間が経過したため、この操作は終了しました。
	はすaT1は 2012/03/29 13:37 (この時)しました。
	ОК <i><b>‡</b><i>v</i>&gt;<i>tjv</i></i>
4-4 🕒	

(画面は Windows 7 の場合)

の場合)

(シ) 矢印の箇所に、「時刻は正常に 2010/88/88 88:88 に 00000と同期しました。」と表示される場合は正しく時刻の更新が出来ております。問題ありません。

しかし、「00000と同期中にエラーが発生しました。」と表示される場合は、自動で時刻を 更新できません。時計サーバー名が間違っている状況です。そのため、案内放送のタイ ミングがずれますので、コンピューターに詳しい教職員にお尋ねください。質問内容:「時 計の時刻を自動更新したいです。時計サーバーをどのように設定したらよいですか?」

#### 2. スクリーンセーバー設定と電源設定について(ディスプレイ画面を常に表示するため)

OSCE 案内放送中に、省電力設定によりコンピューターがスリープ状態になると、放送できなくなります。そのスリープ状態やスクリーンセーバー動作状態などを回避するため、本プログラム動作中は、55 秒間隔でキーボー操作を行います(Print Screen を押す)。

その <u>55 間隔でキーボー操作を停止するためには、</u>以下の操作を行う必要があります。 通常これらの操作を行う必要がありません。 プログラム起動中に他の作業を行う場合のみ、ご 利用ください。

注意: これらの機能は端末用プログラムにあり、管理用プログラムにはありませんので、ご 注意ください。管理用プログラムの裏で端末用プログラムを起動しておくことをお勧めします。

(ア)端末用メイン画面(図 4-5)のタブ「スクリーンセーバー設定」の「スクリーンセーバーの 停止」をクリックします。



(イ) スクリーンセーバーを再度停止する場合は、「スクリーンセーバーの停止」をクリックします。

#### 3. Windows Update(自動更新)を無効にしてください(自動的に再起動するのを防ぐため)

(ア)「コントロールパネル」の「Windows セキュリティーセンター」を選択します

(イ) 表示される「Windows セキュリティーセンター」内の「自動更新」を選択します

(ウ)表示される「自動更新」内の「自動更新を無効にする」を選択し、「OK」を押します

(備考) Windows から警告が発せられると思われますが、本ソフト使用中は、自動更新を無効 にしてください。使用終了後、自動更新を有効にすることをお勧めします

#### 4. 端末用コンピューターと外部スピーカーの接続

端末用コンピューターには案内放送を行うため、外部スピーカーを接続しております。コン ピューター本体と外部スピーカーの接合部(コネクター部分)が正しく繋がっていることを確認 してください。接触不良が生じますと、プログラムが放送しているにも関わらず、放送が流れな い事態が生じます。このような事態は管理プログラムでは監視できません。

#### 5. 放送番号の間違いの確認

放送スケジュールを、放送番号(例:「1 移動開始」など)を使用しますが、番号の記載ミス にお気をつけください。例えば、登録されていない番号を入力した場合は、「<< 番号の間 違い >>」と表示され、放送されません。

#### 6. 不慮の事態に備えて

放送を行う端末用コンピューターが机の上から落下するなど、不慮の事態に備えて、各課 題を担当されているスタッフの方に、案内放送が正しく放送されているかの確認はお願いす べきと考えます。また、コンピューターが動作できなくなった時のことを考え、放送スケジュー ルを印刷し、各ステーションに配布すべきと考えます。

## 第5章 利用期限の更新(端末用のみ)

公開されているプログラムは試用版であり、ダウンロードから 2 か月間の利用頂けます(図 5-1)。本プログラムを継続利用する際には、ユーザー登録が必要となります(無償)。以下のユーザー登録することで、申請日から3年間利用することができます。



#### <ユーザー登録>

ユーザー登録を行うためには、端末用メイン画面(図 5-2)のタブ「ヘルプ」の「ユーザー登録」 をクリックすると、図 5-3 が表示されます。

	OSCE時間管理プログラム(端未用)
	スクリーンセーバー設定 時計の自動同期 ヘルプ
	<b>OSCE時間管理プロ</b> プログラムのホームページへ rsion: 2.2 著作・製作: 千葉科学大学 薬学部 (201)
	バージョン情報
	リンク更新時間: 未リンク状態 アップデートの有無の確認
)-2	
1	ユーザー登録
	ユーザー登録することで、申請日から3年間利用することができます(無償)。 再度利用期限が切れましたら、再度の申請をお願いします。 以下の内容を電子メールにて、お送り頂けましたら数日中に「ユーザーID」 と「更新コード」をお送りします。更新方法の詳細はマニュアルをご覧ください。 メール送信先: 千葉科学大学 大高 (hohtaka@cis.ac.jp) メール送信内容: <080E時間管理ブログラム ユーザー登録申請> 所属機関 (大学名/会社名) : 部署(学部学科名/部署名) : 管理者氏名 : 連絡先メールアドレス : コメント:

ユーザー登録情報(所属機関(大学名・会社名)、部署、管理者氏名、連絡先メールアドレス)を 千葉科学大学 大高泰靖(<u>hohtaka@cis.ac.jp</u>)にメールにてお送りください。お送り頂けましたら、 数日中に「ユーザーID」と「更新コード」をお送りします。

備考)本ユーザー登録によりお預かりする個人情報は、本プログラムの利用実績調査のため に利用させて頂き、ユーザーの承諾なく第三者に開示することは一切ございません。

## <利用期限の更新>

ユーザー登録を行い、入手した「ユーザーID」と「更新コード」をプログラムに登録し、利用期限の更新を行う必要があります。利用期限の更新を行うためには、端末用メイン画面(図 5-4)のタブ「ヘルプ」の「利用期限の更新」をクリックすると、図 5-5 が表示されます。



入手した「ユーザーID」と「更新コード」を記入し、ボタン「利用期限の更新」をクリックすると図 5-6 が表示され、更新終了です。更新コードの入力を間違えますと更新できませんので、間違えな く入力ください。最後に「OK」を押して、画面を閉じてください。

使用期限の更新を行いました。
使用期限(は2015/03/31
OK

## <プログラムのアップデートの確認>

ユーザーが使用されているプログラムに問題が生じない限り、プログラムをアップデートする必要がありませんが、アップデートを確認されたい場合は以下の操作を行ってください。

アップデートの確認を行うためには、端末用メイン画面(図 5-7)のタブ「ヘルプ」の「アップデートの有無の確認」をクリックしてください。アップデートファイルがある場合は、画面の指示に従い、プログラムを一旦終了する必要があります。また、現在使用しているプログラムは上書きされ、消去されますので、アンプデートする際はご注意ください。



## 第6章 トラブルシューティング

#### 1. 放送を行う端末用プログラムで案内放送が流れない

- (原因) Windows の音量設定が0になっている
- (対策) Windowsの音量設定を変更するためには、デスクトップの右下にスピーカーマー クをダブルクリックするか、コントロールパネルの「サウンドとオーディオ デバイス のプロパティ」を開いてください。その後、ミュートされていないこと、音量の設定 が 0 でないことを確認してください。それでも音量がでない場合は、同画面に詳 細設定がありますので、それを開き、「WAVE」の設定がミュートされていないこと、 音量の設定が 0 でないことを確認してください。
- 2. ネットワーク上のトラブル
  - (原因) 設置機関により、ネットワーク設定は異なりますので、原因は不明です
  - (対策) ネットワーク管理者、コンピューターに強い教職員にお尋ねください。

#### 3. プログラムが起動できない・プログラムに起因する問題

- (原因) プログラムに問題があります
- (対策) 他のコンピューターにインストールした場合でも生じる場合は、作成者までご相 談ください。

#### 4. Windows Vista における時刻の遅延問題

- (症状) Windows Vista と作成に用いた Visual Studio 2010 との相性の問題により、1-2 秒 程度動作が遅くなります。原因は不明ですが、遅延以外に問題はなく、問題なく 利用することができます。
- (対策) 現時点では、Windows XP SP2以上、Windows 7 32/64bit で動作確認を行って おります。時間遅延に関して考慮する場合は、Windows Vista 以外の OS でご利 用ください。もしくは、1-2 秒遅延しても問題がない箇所でご利用ください。